

川西市黒川里山センター自動販売機設置仕様書

川西市黒川里山センター（以下、「センター」という。）における飲料等の自動販売機の設置について、以下のとおり定める。

1 機器の設置及び撤去について

- (1) 設置事業者は、自動販売機の設置に要する経費（機器そのものの代金、搬入、電源工事等の経費）一切を負担すること。
- (2) 設置事業者は、電源工事に当たって専用の子メーターを設置し、自動販売機に係る電気使用料を正確に検針できるようにすること。
- (3) 環境負荷を低減した自動販売機の設置に努めること。
- (4) 自動販売機の外観については、特定のメーカー、商品等の宣伝を行うことなく、景観形成重点地区（黒川地区）景観形成ガイドライン（令和3年4月策定）を遵守し、里山の景観に調和した外観とすること。
- (5) 設置事業者は自動販売機を撤去する際、経費一切を負担し設置前の原状に回復すること。
- (6) 設置場所については、別紙1とすること。

2 機器の運用について

- (1) 自動販売機の設置については、安全に設置するとともに、設置後は定期的に安全面に問題が無いか確認すること。
- (2) 設置事業者は電気使用料等、自動販売機の運用に必要な経費を負担すること。
- (3) 設置事業者は自動販売機にタイマーを設置し、販売時間帯は協議すること。
- (4) 設置事業者は自動販売機の管理、保全及び代金回収を行うとともに、自動販売機の損壊、盗難事故、運転の不円滑その他の異常を発見し、またはセンターより連絡を受けたときは、市の責めによることが明らかな場合を除き、業者負担により速やかに修復すること。
- (5) 災害発生時に市が飲料の提供を必要と判断した場合には、自動販売機内の全ての飲料を無償で提供すること。
- (6) 自動販売機は、ライフラインが停止した状態であっても手動で飲料備蓄品を搬出できる仕様とすること。また、災害対応型であることを表示すること。

3 商品について

- (1) 設置事業者は、食品衛生法等に基づき品質管理の徹底を図ること。
- (2) 設置事業者は、自動販売機を利用した者がその商品により健康上の障害を生じた場合、一切その責を負うこと。
- (3) 販売する商品の種類については、お茶、ミネラルウォーター、炭酸飲料、コーヒーなどの缶、ビン又はペットボトル等密閉式容器入りの清涼飲料水とし、酒類（ノンアルコール飲料も含む）の販売はしないこと。
- (4) 販売価格は標準小売価格を上回らないこと。
- (5) 売上金は全て設置事業者の収益とする。

4 容器の回収及び処理について

- (1) 使用済み容器の回収ボックスの設置及び管理を行うとともに、自動販売機、回収ボックス及びこれらの周辺を清潔に保ち、設置場所周辺の美化推進に努めること。
- (2) 設置事業者は回収物について、リサイクル処理を行うこと。

5 貸付条件

- (1) 貸付期間は、17 カ月とする。
- (2) 設置事業者として決定した者が入札した価格をもって年間貸付料とする。ただし、使用期間が1年未満の場合は、月割をもって計算することとし、この場合において、その期間が1カ月未満のものまたはその期間に1カ月未満の端数期間が生じた場合は、当該端数を1カ月として計算する。
- (3) 貸付期間中の年間貸付料の変更は行わない。
- (4) 設置事業者は自らの事情に起因して貸付期間中に自動販売機を撤去しようとするときは、撤去しようとする日の3カ月前までに市に通知し、協議すること。また、自動販売機の撤去に伴い、当該設置事業者は、契約を解除した物件に設置する自動販売機に係る次の公募に応募出来ないものとする。
- (5) 貸付期間中であっても、国、地方公共団体その他公共団体において、土地を公用又は公共用に供するため必要が生じたときは、市が契約を解除することが出来る。この場合において、市は既納の貸付料を日割をもって還付すること。

6 その他

- (1) 設置事業者は、設置した自動販売機に係る毎月の電気使用量、売上数量及び金額等を、翌月の10日までに、文化・観光・スポーツ課へ報告すること。
- (2) 貸付料は、貸付期間中の年度ごとに、市の指定する納付書により、その指定する納付期限までに年額を一括して納めること。
- (3) 光熱水費は、貸付期間中の年度の末期ごとに、市の指定する納付書により、その指定する納付期限までに納付させるものとする。
- (4) 設置事業者は、里山の景観に配慮するとともに、そのために必要なセンターの指示に従うこと。
- (5) 設置事業者は、契約後、速やかに自動販売機を設置すること。設置が遅れる場合は、センター及び文化・観光・スポーツ課と相談・協議すること。